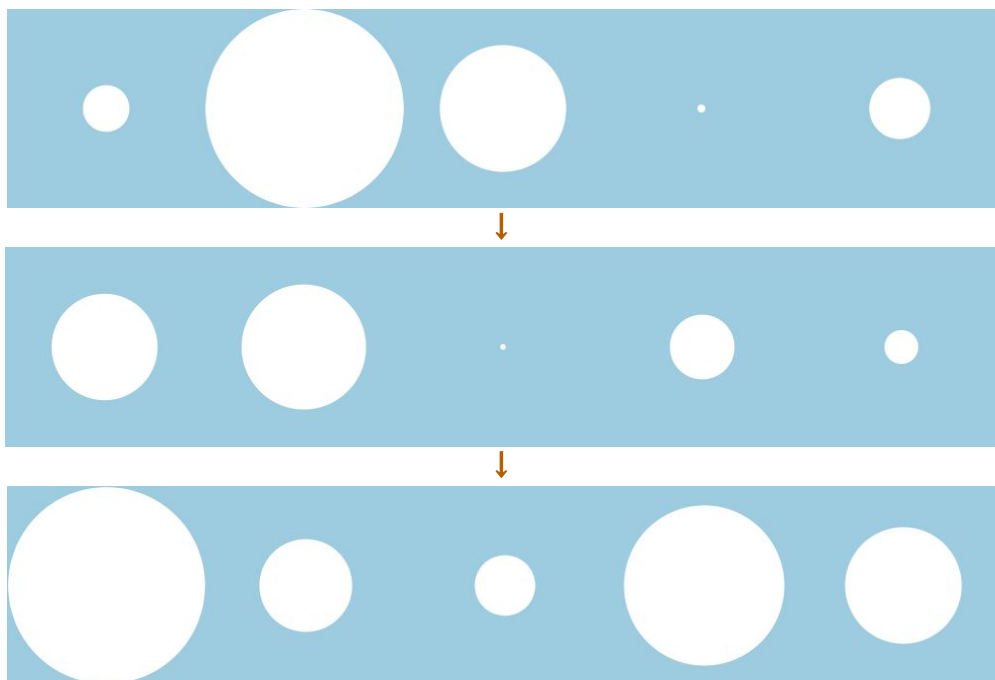


第8週 発展課題

下図のように、複数の円のサイズが異なる速度で泡のように変化するアニメーションを作成したい。仕様を以下に示す。

- キャンバスサイズは500×100とする
- 左端の円のx座標は50とし、100間隔で5個の円を描画する
- 円の大きさは、0からキャンバスサイズまで大きくなり、キャンバスサイズを超えると再び0から繰り返す
- 各円の大きくなる速度は5つの乱数(random関数)で決める

背景色や円の色等は自由に決めてよい。



以下の手順で作成するとよい。

1. for文を使って、同じ速度で大きくなる円を5個描画する
※for文はアニメーション用途では使えないが、同じ図形を複数描画したいときにはこれまでのようにfor文を使う
2. 5個の円の各直径を配列diasで表現する(値は0で初期化する)
3. 各円の変化速度を表す配列velsをコード先頭で宣言し、setup()の中で0.5～2の範囲の乱数を5個追加する
4. 円の直径diasの各値を、速度velsの各値で更新する(dias[i] += vels[i];)